

2022 年度事業実績の概要

新型コロナウイルス感染症のまん延状況の中、さまざまな制約を受けつつも定款に定める諸事業に取り組んだ。多人数が集まることを避けるため、講演会及び研修会、資材展示圃の成績・設計検討会は、オンラインを活用したハイブリッド方式により開催した。

公益目的事業では、農薬講演会、植物防疫講演会、植物防疫技術研修会を開催し、生産現場の課題解決に有効な情報の提供と共有化を図った。最近の植物防疫に関する話題を内容とする機関紙「三重の植物防疫」64号、65号を発行し、関係機関に配布した。本県の植物防疫における現場課題の解決に寄与することを目的に、病虫害防除および雑草防除の技術的課題について三重県農業研究所との共同研究を実施した。

試験事業では、一般社団法人日本植物防疫協会からの農薬残留試料調製試験を当協会で実施した。また、一般社団法人日本植物防疫協会及び公益財団法人日本植物調節剤研究協会からの委託試験を三重県農業研究所に再委託し、課題解決に有望な資材について農薬登録の取得にむけて取り組んだ。新規登録農薬や肥料、新規開発資材等を対象に現地における普及性、問題点を明らかにするため、賛助会員のご協力を得て資材展示圃を設置した。資材展示圃は農業分野及び芝草分野に分けて設置し、農業分野は、三重県農業改良普及機関及び三重県農薬商業協同組合、三重県肥料商業組合、JA全農みえが実施し、芝草分野は、三重県ゴルフ連盟が実施した。